

# カリキュラム

コースコード：26-406

タイトル	<b>伴走型支援のためのロジカルシンキング</b>		
研修のねらい	本研修は、小規模事業者・中小企業者への伴走型支援に必要なロジカルシンキングを習得することを目的としています。支援者として、事業者と共に課題を整理し、論理的に解決策を導き出す能力を高めます。具体的には、支援者の役割や心構えを理解し、問題分析や目標設定をロジカルに進める方法を学びます。また、事業者との信頼関係を築きながら共感的なコミュニケーションを行い、持続可能な支援を実現するスキルを養います。ケーススタディやシミュレーションを通じて、実務に即した実践的な支援方法を身につけ、支援者としての即戦力を強化します。		
研修の特徴	1.実践的なケーススタディ 実際の事業者の課題を題材にしたケーススタディを通じて、ロジカルシンキングの実務での活用方法を学びます。 2.伴走型支援に特化した内容 事業者と共に問題を解決し、成長を支援するための論理的なアプローチと実践的な支援スキルに焦点を当てています。 3.共感力と論理的思考の融合 事業者との信頼関係を築くための共感力と、課題解決に必要な論理的思考をバランスよく学び、支援力を強化します。		
対象者	中小企業支援担当者又は中小企業支援協力機関の役員及び職員で、中堅担当者又は職務経験5年程度以上の者	定員	20名
		研修期間/時間数	2026年12月8日(火)～10日(木)
			3日
		会場	中小企業大学校 瀬戸校 1階 パソコン実習室
受講料	23,000円		

## 科目構成

日付	時間	科目	内容	講師
12/8 (火)	9時20分～9時40分	開講式・オリエンテーション		株式会社未来会議 代表取締役 細谷 宏
	9:40～12:00 13:00～17:40	伴走型支援とは？概念と実践的アプローチ	伴走型支援の基本的な考え方を理解し、支援者としてどのような姿勢と心構えが必要かを学びます。 ・伴走型支援とは？－支援者と事業者の役割と関係性 ・支援者の「聴く力」「共感力」の重要性 ・支援のプロセス：共に目標設定を行い、改善策を立てて実行 ・伴走型支援の事例紹介（成功事例と失敗事例の分析） ・「支援者」vs「指導者」－支援者としての思考を強化	
	18:10～19:10	受講者交流会	受講者相互の情報交換と交流を深めていただく懇親会です。	
12/9 (水)	9:30～12:00 13:00～17:30	伴走型支援の中でロジカルシンキングを活かす方法	事業者の問題解決において、論理的な思考をどのように活用し、伴走型支援の効果を最大化するかを学びます。 ・事業者の課題分析におけるロジカルシンキングの活用（「現状把握」「課題の特定」「目標設定」） ・伴走型支援における「問題解決型」の思考プロセス（「なぜ？」「どうする？」を繰り返す） ・問題を明確化するためのフレームワーク（「5W1H」「フィッシュボーンダイアグラム」など） ・効果的な解決策の提案方法（共に選択肢を模索し、実行可能な解決策を導く） ・支援中の「フィードバックのタイミング」と「進捗のレビュー方法」	
12/10 (木)	9:00～12:00 13:00～16:00	伴走型支援の実践演習（ケーススタディを通じてロジカルシンキングを鍛える）	実際の事業者のケースを基に、支援者として伴走しながら課題解決を行うシミュレーション演習を通じて、ロジカルシンキングを駆使した支援スキルを実践的に学びます。 ・ケーススタディ：事業者の課題（財務状況、マーケティング、組織運営など）を題材にした演習 ・ロジカルシンキングを活用した課題の分析と仮説設定 ・支援者として事業者と共に課題解決策を導く（共に考える姿勢と論理的アプローチ） ・解決策を実行に移すためのステップと支援方法（行動計画の立案） ・フィードバックの手法－事業者と共に進捗をレビューし、次のステップを決める	
		「伴走型支援」と「ロジカルシンキング」をつなげるための効果的なコミュニケーションスキル	ロジカルシンキングに基づいた明確な説明と、事業者に寄り添ったコミュニケーションのバランスを学びます。 ・ロジカルな説明と共感的な聴き方のバランス ・事業者の反応を受けて、論理と感情をうまく融合させるコミュニケーション方法 ・支援者としてのメッセージの伝え方－難しいことを簡潔に伝える技術	
	16時10分～16時20分	閉講式		

## 講師氏名

## 略歴

細谷 宏（ほそや ひろし） 株式会社未来会議 代表取締役	中小企業診断士、ネットワークスペシャリスト、アプリケーションエンジニア。 ベンチャー支援からWebマーケティングまで幅広く多数の相談対応実績。 中小企業基盤整備機構 中小企業アドバイザー。
------------------------------------	--